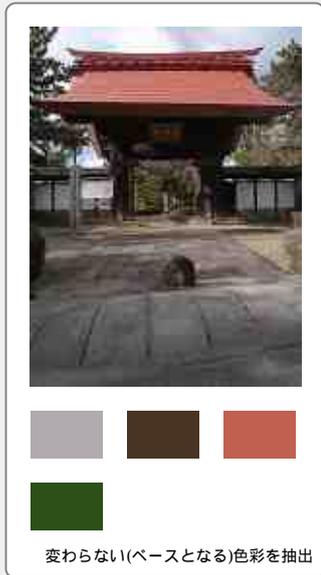


【東の1コマ】 地区を代表する景観構成要素



ふるさと自慢〔住む人の声〕

歴史

宅地開発や新道の開通などにより、田園風景が消えつつある

赤城山遠望軸

冬に出現する影牛

榛名山遠望軸

上越線から眺める榛名山

街

開発により宅地化が進んでいる
住宅団地が一つの町をつくっている
地域色がある

祭

鏡神社の獅子舞
東箱田・後家町の祭り

人

自治会と高校生による、あじさいの飾花活動が行なわれ、地域のつながりが強い。
郷土愛が強い。

人の動き

交通利便性による人口増

拓く

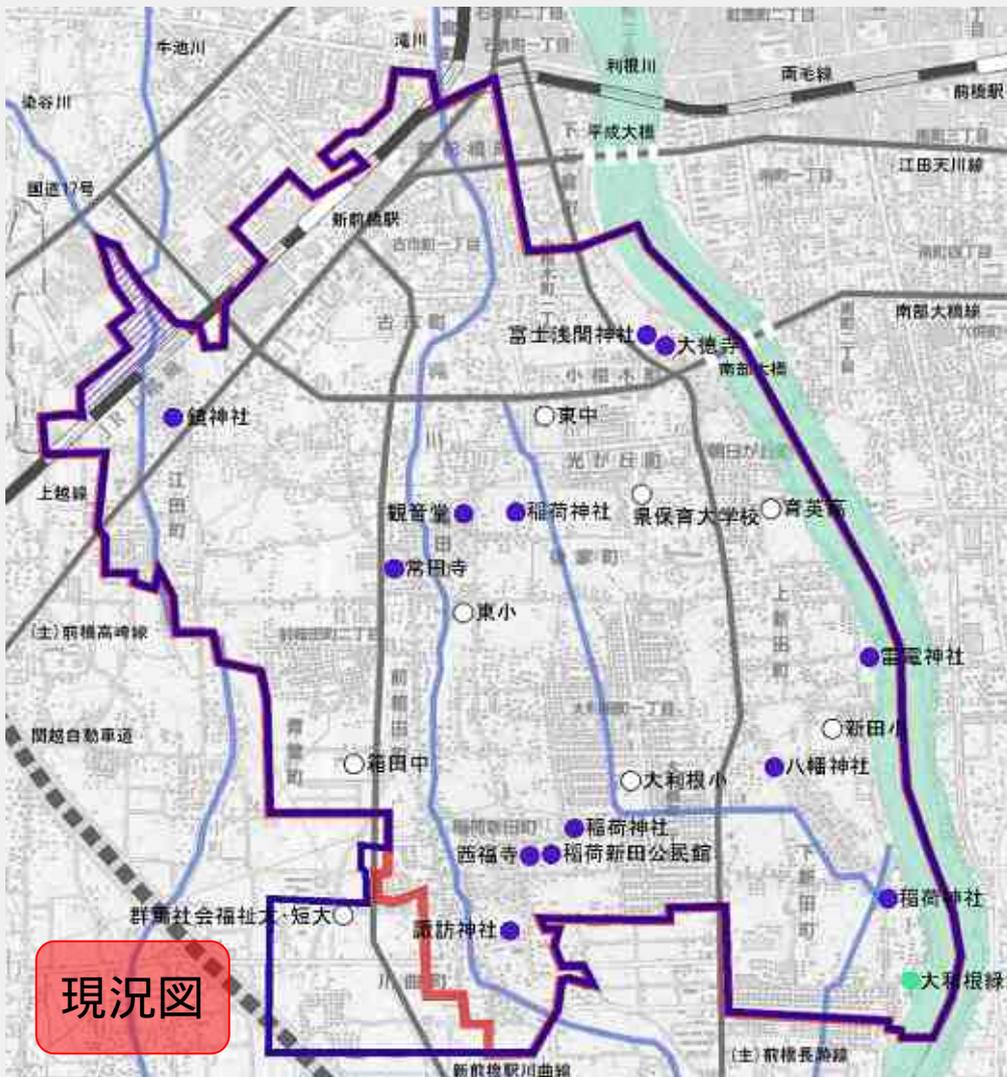
(都)新前橋川曲線の開通による新しい遠望景観
一層高まる交通利便性

古道

佐渡奉行街道

香り

街路樹の色彩と香り



地区の課題

景観にかかる課題1

交通利便性のよい新前橋駅及び周辺は、副都心の位置づけがあるにもかかわらず、その魅力が表出してない。

景観にかかる課題2

大規模な住宅団地が多く立地し、良好な環境が整っているが、ミニ開発による宅地化も進み、田園風景の喪失など、生活を潤してきた自然環境が失われつつある。

景観にかかる課題3

農地転用件数が市内で最も多く、宅地開発や新道の開通、ミニ開発などにより、地域の姿が早急で変化している。

体制にかかる課題1

祭や社会奉仕活動などにより地域のつながりが強く、この結束力を地域の景観づくりにも広げていけるような取り組みが求められる。

景観形成 重点地区候補地



新前橋駅周辺地区

景観形成のテーマ
新しい前橋の顔をつくる

目標

整備された街路に合わせて、沿道の建物や広告物等の形態、大きさ等に配慮し、前橋の副都心としての顔となる街並みを形成する

大利根団地周辺地区

景観形成のテーマ
山稜への眺望を活かし、ゆとりと潤いのある住宅地をつくる

目標

庭先の緑化等を図るとともに、山稜への眺望を住宅地の特徴として組み込み、建物や広告物等の形態、大きさ等に配慮し、統一性のある街並みを形成する

出典 / 前橋市景観形成モデル地区指定指針(平成11年3月)

体感・体験図〔住む人の目〕

地区の方針

景観形成方針 1

副都心機能をもつ地区であり、特に新前橋駅及び幹線道路においては、一貫性のある色を打ち出すべく、景観行政の中でまちの魅力を高める取り組みを行う。

景観形成方針 2

大規模な住宅団地は、現在の低層住宅団地のまちなみと背景となる山並みの眺めを保全する。また、街路樹と敷地内緑のつながりの強化などにより、緑の相乗効果が生まれるよう取り組む。

景観形成方針 3

今ある田園風景は地域の資産であり、保全すべき田園区域の位置づけを明確にするとともに、ミニ開発は、積極的な緑化や建築協定などにより、田園風景と調和する環境づくりに取り組む。

景観形成方針 4

利根川、滝川、染谷川は、周辺の緑とともに守り育て、地区の生活の中に溶け込ませていく。

景観形成方針 5

南部大橋、南部大橋線や上越線沿線からの山並みの眺めを守る。

景観形成方針 6

鏡神社の獅子舞や東箱田・後家町の祭りを支える地域のつながりを大切に育み、佐渡奉行街道脇の大徳寺などの寺社や白壁の蔵、石積みの塀といった歴史的資産を、地域のつながりを通して守っていく。

体制整備方針 1

景観づくりに寄与する地域住民活動に対する柔軟な支援体制を整える。